

つれづれ

平成29年11月17日(金)

言葉を大切に



先日、26号線で信号待ちをしていました。すると、すぐ後ろで話をしている二人の女性の会話が聞こえてきました。

「あのばあ^ううっとおいしいねん。いつまでも下手に出てると思ってたら大違いやで」

「ほんまやで、ええかげんにし^{したて}てほしいわ。見てるだけで腹立つわ」

この後も、聞いているだけで気分が悪くなるような会話が続きました。信号が青になると、二人の女性は小走りで信号を渡って行きました。ユニフォームからすると、ある特定の仕事をしている人に見えました。当の本人たちは、自分たちの発した言葉の重みをどのように捉えているのでしょうか。

普段何気なく遣^{つか}っている言葉ですが、皆さんはその重みを感じていますか。このように書いている私自身も、言葉を発した後で「しまった」と思うことが多々あります。「後悔先に立たず」です。

感謝や優しさのある言葉など、良い言葉は人の心が温ため、人間関係を円滑にしてくれます。逆に、人をけなしたり揶揄^{げう}するなど、悪意のある言葉は、人に不愉快な思いをさせたり、人の心を傷つけてしまいます。ここで言う人とは、その言葉の対象となっている人だけでなく、それを聞いている周囲の人指します。

皆さんは、日頃どのような言葉を遣っていますか。また、その内容にも気を配っているのでしょうか。知らず知らずのうちに人を傷つけたり、人に不愉快な思いをさせたりしていないでしょうか。自戒の念も込めて、今一度、一緒に良い言葉遣いや会話内容について考えてみましょう。 ※揶揄→からかうこと。

<保護者の皆様へ>

学校ホームページで、日々の教育活動のようすを公開しています。どうぞ、本校ホームページを閲覧してください。

【大阪市教育委員会 天下茶屋中学校】で検索



QR code

天下茶屋中学校HP→<http://swa.city-osaka.ed.jp/swas/index.php?id=j762750>